

Cisco Business 250または350シリーズスイッチでのSimple Network Management Protocol(SNMP)ビューの設定

目的

Simple Network Management Protocol(SNMP)は、IPネットワーク上のデバイスを管理するために使用されるインターネット標準プロトコルです。SNMPメッセージは、管理対象オブジェクトに関する情報の検査と通信に使用されます。SNMPは、管理情報ベース(MIB)を使用して、オブジェクト識別子(OID)を含む階層またはツリー構造のネームスペースに使用可能なオブジェクトを保存します。OIDは、SNMPを介して読み取りまたは設定できるMIB階層内の情報を識別します。

SNMPビューは、MIBオブジェクトのサブセットで、MIBオブジェクト情報に対するSNMPユーザの書き込み、読み取り、および通知権限を制御するためにSNMPアクセスグループに割り当てることができます。ビューは、MIBサブツリーのコレクションに対するユーザ定義のラベルです。各サブツリーIDは、関連するサブツリーのルートのOIDによって定義されます。既知の名前を使用して目的のサブツリーのルートを指定するか、OIDを入力できます。

この記事では、Cisco Business 250または350シリーズスイッチでSNMPビューを設定する方法について説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチでのSNMPビューの設定

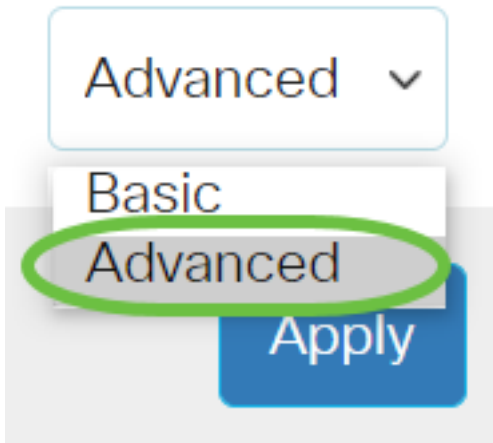
スイッチのWebベースユーティリティの[Views]ページでは、SNMPビューを作成および編集できます。デフォルトビュー (DefaultおよびDefaultSuper) は変更できません。

ビューは、[グループ(Groups)]ページのグループまたは[コミュニティ(Communities)]ページから基本アクセスモードを使用するコミュニティに関連付けることができます。

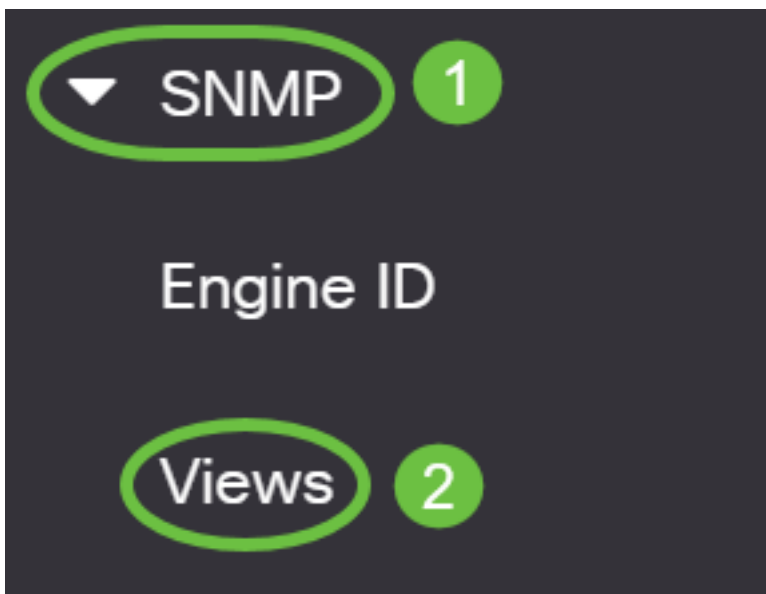
注：スイッチでSNMPグループを設定する方法については、[ここをクリックしてください](#)。スイッチでSNMPコミュニティを設定する方法については、[ここをクリックしてください](#)。

SNMPビューテーブルの表示

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Display Mode]ドロップダウンリストで[Advanced]を選択します。



ステップ2:[SNMP] > [Views]を選択します。



ビューテーブルには、次の情報が表示されます。

Views

View Table

Filter : *View Name* equals to

<input type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
<input type="checkbox"/>	Default	1	Included
<input type="checkbox"/>	Default	1.3.6.1.6.3.13	Excluded
<input type="checkbox"/>	Default	1.3.6.1.6.3.16	Excluded

- [ビュー名] : ビューの名前。

- [Object ID Subtree]:SNMPビューに含める、またはSNMPビューから除外するサブツリー。
- [Object ID Subtree View] : 選択したSNMPビューに定義されたサブツリーを含めるか、除外するかを表示します。

ステップ3: (オプション) [フィルタ]チェックボックスをオンにして、ビューテーブルに表示するビュー名をフィルタします。

Views

View Table

+

Filter : View Name equals to Default

ステップ4: (オプション) [View Name]ドロップダウンリストからビュー名を選択します。

Views

View Table

+

Filter : View Name equals to Default

View Name Object ID Subtree Object ID Subtree View

デフォルトでは、次のビューが作成されます。

- デフォルト : 読み取り/書き込みビューのデフォルトのSNMPビュー。
- DefaultSuper – 管理者ビューのデフォルトSNMPビュー。

注 : この例では、[Default]が選択されています。

ステップ5: (オプション) [Go]をクリックします。

Views

View Table



Filter : View Name equals to Default

ステップ6: (オプション) フィルタ設定をクリアするには、[フィルタのクリア]をクリックします。

View Table



Filter : View Name equals to Default

<input type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
<input type="checkbox"/>	Default	1	Included
<input type="checkbox"/>	Default	1.3.6.1.6.3.13	Excluded

これで、スイッチのSNMPビューが表示されました。

ビューテーブルへのビューの追加

ステップ1:[Add]ボタンをクリックし、ビューテーブルに新しいエントリを追加します。

View Table



Filter : View Name equals to Default

<input type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
<input type="checkbox"/>	Default	1	Included

ステップ2:[View Name]フィールドに新しいSNMPビューの名前を入力します。このフィールドの文字数の上限は30です。

Add View

✳ View Name:

TCP

(3/30 characters used)

注：この例では、ビュー名としてTCPが使用されています。

ステップ3:[Object ID Subtree (オブジェクトIDサブツリー)]領域で、新しいSNMPビューに含まれるノードまたはMIBツリーから除外されるノードを選択する方法を定義する次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

注：この例では、[Select from list]が選択されています。

Add View

✳ View Name:

TCP

(3/30 characters used)

✳ Object ID Subtree: Select from list:

system
interfaces
ip
icmp
tcp
udn

User Defined:

1.3.6.1.2.1.1

次のオプションがあります。

- [Select from list]：使用可能なリストからMIBツリーのノードを選択できます。
- [ユーザ定義(User Defined)]：ユーザは、[選択元(Select From)]リストで使用できないオブジェクトIDを入力できます。このオプションを選択した場合は、[User Defined]フィールドにOIDを入力し、ステップ7に進みます。

ステップ4: (オプション) リストを下にスクロールし、リストからOIDサブツリーを選択します。

Add View

✳ View Name:

TCP

(3/30 characters used)

✳ Object ID Subtree: Select from list:

system
interfaces
ip
icmp
tcp
udn

User Defined:

1.3.6.1.2.1.6

注：この例では、tcpが選択されています。

ステップ5: (オプション) 上矢印を使用して選択したノードの親と兄弟のレベルに移動し、下矢

印をクリックして選択したノードの子のレベルに下がります。

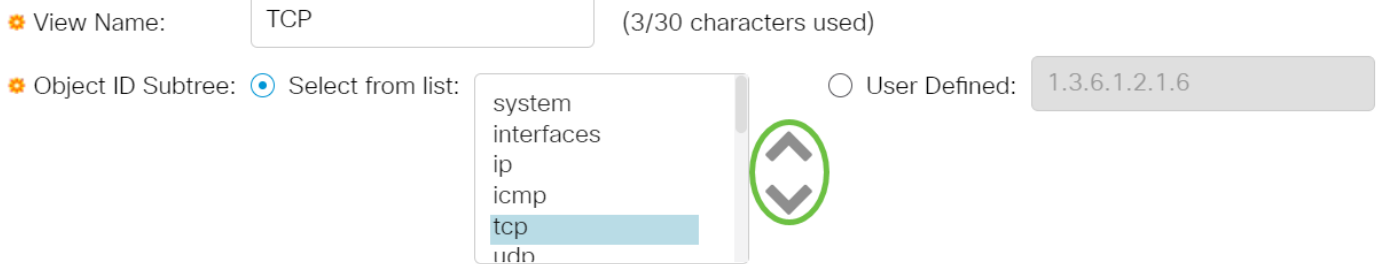
Add View

View Name: (3/30 characters used)

Object ID Subtree: Select from list:

- system
- interfaces
- ip
- icmp
- tcp
- udn

 User Defined:



注：この例では、下矢印をクリックします。

ステップ6: (オプション) リストを下にスクロールし、リストから子を選択します。ステップ5で [Up] ボタンを選択した場合は、代わりに親を選択します。

Add View

View Name: (0/30 characters used)

Object ID Subtree: Select from list:

- tcpRtoMax
- tcpMaxConn
- tcpActiveOpens
- tcpPassiveOpens
- tcpAttemptFails
- tcpEstabResets
- tcpCurrEstab

 User Defined:



注：この例では、tcpAttemptFailsが選択されています。

[ステップ7:](#) [ビューに含める] チェックボックスをオンまたはオフにします。このチェックボックスをオンにすると、選択したMIBがビューに含まれ、それ以外の場合は除外されます。

Add View

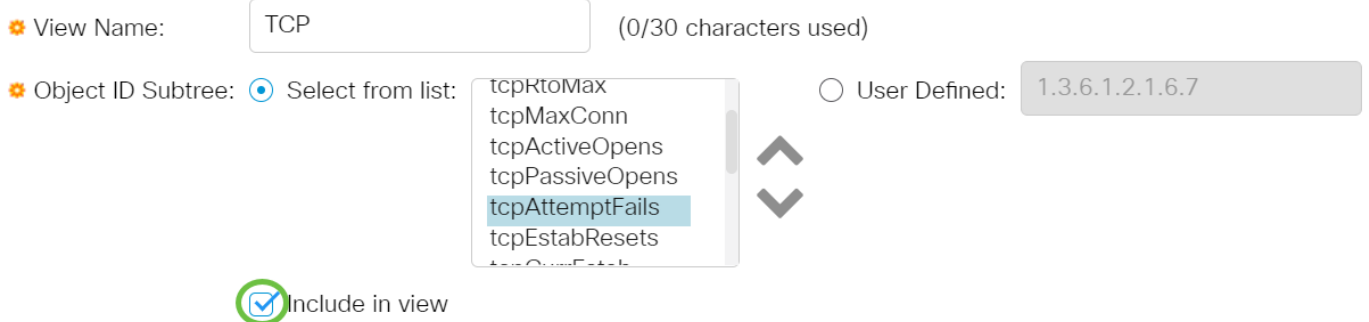
View Name: (0/30 characters used)

Object ID Subtree: Select from list:

- tcpRtoMax
- tcpMaxConn
- tcpActiveOpens
- tcpPassiveOpens
- tcpAttemptFails
- tcpEstabResets
- tcpCurrEstab

 User Defined:

Include in view



ステップ8: [Apply] をクリックし、 [Close] をクリックします。

View Name: (0/30 characters used)

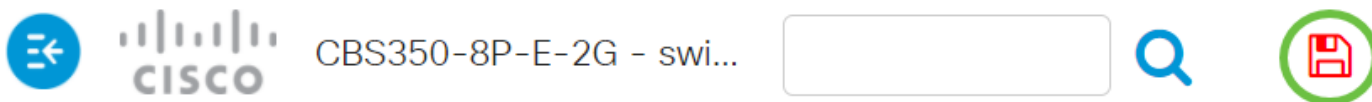
Object ID Subtree: Select from list:

- tcpRtoMax
- tcpMaxConn
- tcpActiveOpens
- tcpPassiveOpens
- tcpAttemptFails**
- tcpEstabResets
- tcpCurrEstab

 User Defined:

Include in view

ステップ9: (オプション) [Save]をクリックして、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。



これで、スイッチのビューテーブルに新しいSNMPビューが正常に追加されました。

SNMPビューの削除

ステップ1: ビューテーブルで、削除するビューのチェックボックスをオンにします。

View Table

+



Filter : View Name equals to

<input checked="" type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
<input checked="" type="checkbox"/>	TCP	1.3.6.1.2.1.6.7	Included
<input type="checkbox"/>	Default	1	Included

注: この例では、TCPビューが選択されています。

ステップ2:[削除]をクリックします。




View Table

Filter : View Name equals to

<input checked="" type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
<input checked="" type="checkbox"/>	TCP	1.3.6.1.2.1.6.7	Included
<input type="checkbox"/>	Default	1	Included



ステップ3: (オプション) [Save]をクリックし、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

 CBS350-8P-E-2G - swi...  

Views

Success. To permanently save the configuration, go to the [File Operations](#) page or click the Save icon.

View Table

これで、Cisco Business 250 Or 350シリーズスイッチのビューテーブルからSNMPビューが正常に削除されました。

CBS250またはCBS350スイッチに関する詳細な記事をお探しですか。詳細については、次のリンクを参照してください。

[SNMPの設定](#) [SNMPグループ](#) [DHCPイメージのアップグレード](#) [パスワードの強度](#) [TCPとUDPの設定](#) [ポートセキュリティ](#) [時間設定](#) [Upgrade Firmware](#) [Smartportのベストプラクティス](#) [トラブルシューティングno ip address](#) [Smartportsのトラブルシューティング](#) [リンクフラッピングのトラブルシューティング](#) [VLAN の作成](#)